

# ライフサイエンス

「よりよく生きる・食べる・暮らす」に貢献

ライフサイエンスは生活に密着な医療や飲食、健康、生活環境の改善などの課題解決に欠かせない分野として国内外で注目されている。国連が2015年に採択した「持続可能な開発目標」(SDGs)ではライフサイエンス分野が支える目標が掲げられている。こうした中、国内の成長戦略の取り組みや、ASEAN(東南アジア諸国連合)の経済発展に伴うヘルスケア市場に関心が高まっている。

## バイオテクノロジー

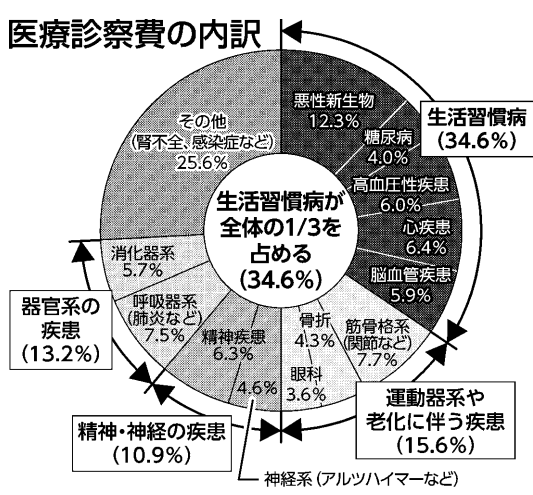
## デジタルと融合 市場創出

ライフサイエンスは最先端・重要分野を、高速で抽出・分析するビッグサイエンス化する。統合イノベーションやオープンサイエンス化、ネットワーク化、デジタル融合など、ライフサイエンス分野が支える目標が掲げられている。こうした中、国内の成長戦略の取り組みや、ASEAN(東南アジア諸国連合)の経済発展に伴うヘルスケア市場に関心が高まっている。

## 人生100年時代の社会保障

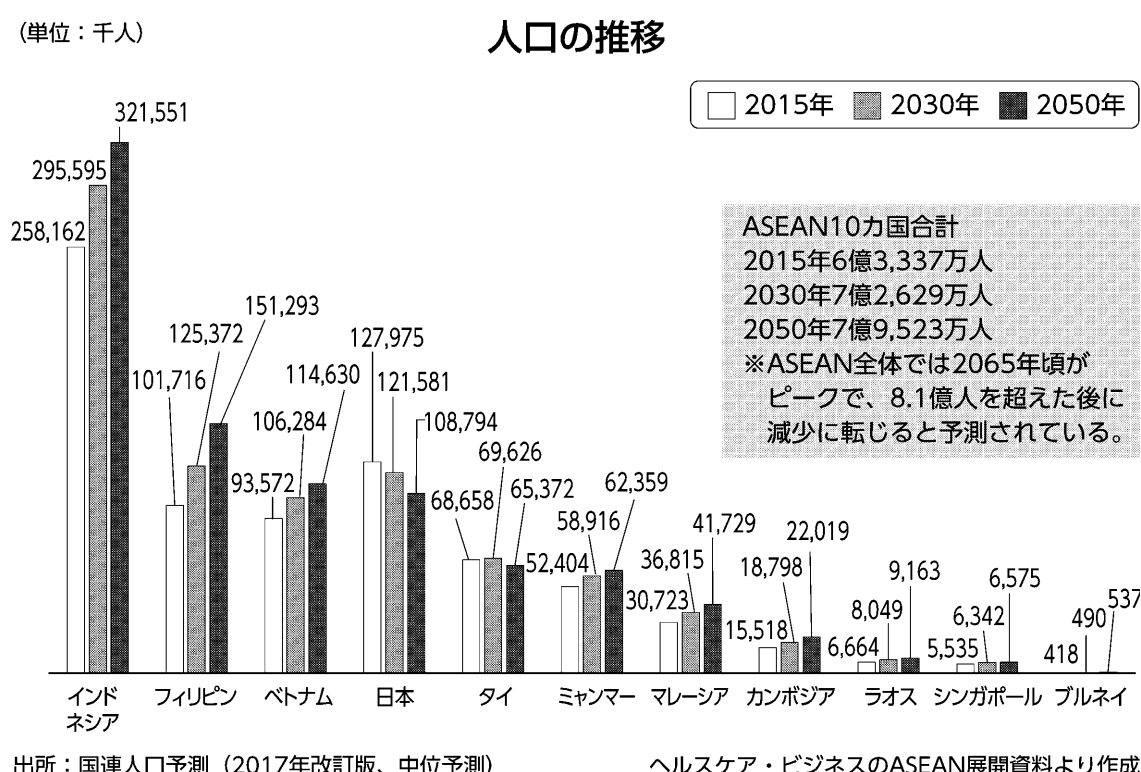
## 全世代型構築へ改革 必須

人生100年時代を迎え、社会保障の改革が急務となっている。医療・介護・年金など、全世代型社会保障の構築が求められる。政府は「成長戦略実行計画」で、全世代型社会保障の構築を掲げている。医療・介護・年金など、全世代型社会保障の構築が求められる。政府は「成長戦略実行計画」で、全世代型社会保障の構築を掲げている。



## ASEAN健康市場 急伸

## 日本企業、存在感高める



ASEANは国際通貨基金(IMF)が19年4月中旬に発表した「世界経済見通し」によると5カ国(インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナム)の19年の成長率は前年比5.1%、20年は成長率を5.2%と見込んでいる。ASEANは国際通貨基金(IMF)が19年4月中旬に発表した「世界経済見通し」によると5カ国(インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナム)の19年の成長率は前年比5.1%、20年は成長率を5.2%と見込んでいる。

情熱と探求こそが、新しい明日をひらく。

